

ガボン金環皆既日食その後の情報

大 越 治

日食情報№2で室伏礼子さんにガボンの事を書いていただきましたので、国内の様子については、およそのことがおわかりいただけたと思います。先日、室伏さんと共に私もガボン大使館を訪れ、参事官のボンゴ氏からより具体的な話をうかがってきましたので、ここで簡単に報告いたします。

(1) ビザの取得について

ガボンは観光客を多く受け入れている国ではないので、ビジネス以外のビザの取得はなかなかむずかしい、との情報がありましたが、日食観測という具体的な目的がある場合は、問題なくビザがもらえるとのことでした。

(2) 観測地について

地図で日食帯を示し、観測地選定について問題となるような事があるかと聞いたところ、特に問題なくどこでも自由に使えるとのこと。一部、動物保護区域が立入禁止になっているが、それ以外は考慮する必要はないということでした。

(3) 国内での交通手段について

バスやタクシーがチャーターできて、10人前後の人数なら問題なく移動できるとのことです。道路も、日食帯周辺はほとんど舗装されていて快適だそうです。

(4) 宿泊施設について

首都のリーブスビルはもちろんのこと、日食帯のまわりにも多くのホテルがあり、確保するのはむずかしくないということでした。

(5) 器材の持ち込みについて

観測器材の持ち込みに制限はなく、カメラを何台持っていようと、ビデオを何台持っていようと自由だということでした。

(6) 天候について

雨期にあたるので多量の雨が降るが、1日中降っているわけではないということでした。1日のうちにちょっぴり天気が変わり、降ったかと思うと晴れて強烈な日射しになる、という具合のようです。

(7) 詳細な地図の有無

くわしい地図は手許にないということで、送ってくれるように本国にその場で手配していただきました。ただし、こちらの要請が本国で伝わっているうちにウヤムヤになることもあるそうですから、あまり期待しない方が良いでしょう。

(8) 予防接種について

特にきまりはないようですが、黄熱病・コレラ・破傷風はやっておいた方がよいようです。

(9) 天文施設について

天文学専門の研究所や施設はないようですが、いくつかの研究所で科学的研究をやっているとのこと。連絡先を教わりました。

さて、以上のような情報をもとにツアーの計画を立てるわけですが、秘書の方のお話によると、日本からガボンへの観光客は年に数名とのこと。そこで、ビジネスでガボン行きを扱うことの多い旅行社を教えてください、現在大まかな見積りを依頼中です。10日以内の旅程にするつもりです。今後の情報が必要な方(特に観測に行くんだ!!と決心している方)は、ぜひ御連絡下さい。

来年9月の金環日食ツアーの計画について

編集部

来年9月23日の金環日食は、沖縄で見られるということで、多数の観測者の興味をひいています。日食情報センターでは、去る9月に行なった勉強会にそなえ、今までに日食観測ツアーを出したことのある旅行社に対し、観測ツアー計画の有無について問い合わせをしました。

その結果、回答のあったのは11社中2社で、いずれも正式に発表する段階ではないとのことでした。また、11月末現在、その後の連絡もありませんので、おそらく詳細は来年になってから出て来るものと思われまます。

観測地に関しては、沖縄は国内ですので個人的に計画した方が便利な面も多く、各旅行社では中国に出かけて観測するツアーを計画しているところが多いようです。いずれ詳細がわかり次第、紹介をしていく予定です。

なお、来年の金環食について、アメリカ海軍天文台からのサーキュラーは発行されません。
